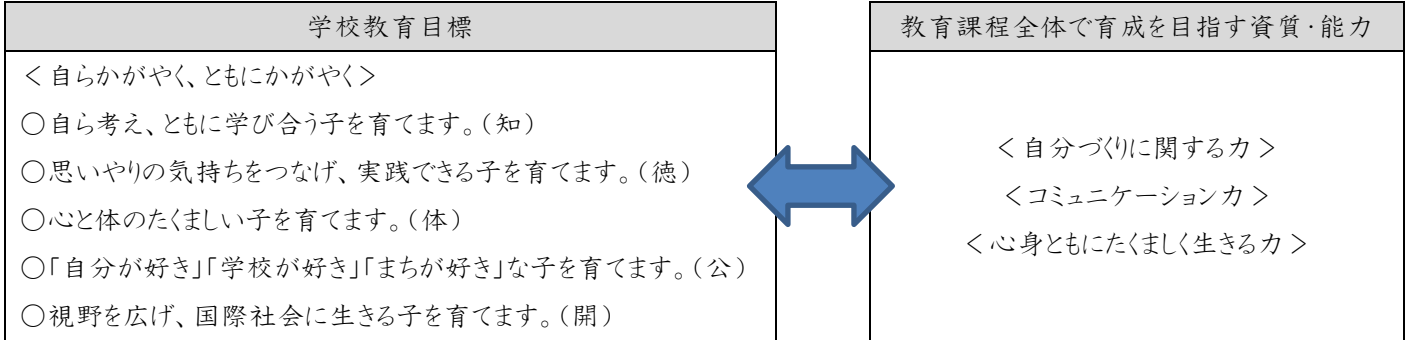


# 横浜市立東中田小学校 令和3年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



(2) 中期目標

中期取組目標
<p>学校教育目標の具現化のために、「いじめのない、明るく仲良く楽しい学校」づくりを目指します。(一人ひとりに寄り添い、見守り、安心して子どもたちが自分のよさを発揮できる場作りを「ハンドメイド」の合言葉のもと、行っていきます。)</p> <p>(知) 分かる喜びと学び合う楽しさを通して、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度を育てます。</p> <p>(徳) 自尊感情を高め、物事の善悪を判断し、感謝の気持ちを持ち、思いやりをつなげ、実践していく心と態度を育てます。</p> <p>(体) 自他の生命を尊び、困難にも負けないたくましい心を持ち、進んで健康づくりに取り組む態度を育てます。</p> <p>(公) 地域の方々への挨拶も自分から進んでできるような地域との関係づくりをし、まちが大好きな気持ちを育てます。</p> <p>(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げ、国際社会で生きる力を育てます。</p>

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p>健やかな体</p>	<p>①「毎日げんきカード」を効果的に活用することでよりよい生活習慣で過ごそうとする意識を高め、自分自身の心と体を見つめる機会とする。②体カアップタイムや大縄大会などから運動の多様性に気付き、喜びや楽しさを味わわせるようにする。</p>
<p>担当 活動部会</p>	

### 2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・体を動かして遊んでいる児童が少ない傾向にあり、よく体を動かす児童とそうでない児童との二極化が見られる。
- ・困難なことに対して粘り強く取り組もうとする態度があまり見られない。
- ・早寝早起き、朝食の摂取、ハンカチの携帯など規則正しい生活習慣、衛生面に対する意識が高いとは言えない。

(2) 体力の概要と要因の分析(全校配布の体力・運動能力調査チャートを活用)

- ・平成30年度、令和元年度の2年間の新体カテストの結果を見ると、多くの種目・学年において全国平均及び市平均を下回る傾向にある。特に「20mシャトルラン」「反復横跳び」「長座体前屈」「立ち幅跳び」「上体起こし」においてその差は大きくなっている。

### 3 体育・健康に関する具体的取組

教科	特別活動・総合的な学習の時間
<p>【体育科での取組】</p> <p>・体育科では、児童が運動の楽しさや喜びを実感し、運動の日常化につなげられるよう体育学習の充実を図る。学習カードや場の設定などを工夫し、身に付けるべき指導事項を身に付けられるようにする。各学年の接続を意識した系統的な指導をしていけるようにする。</p> <p>【他教科での取組】</p> <p>・家庭科では、一日の生活リズムの大切さを理解し、運動に取り組む時間や睡眠時間の見直しを図る。また、食の大切さを理解し、食生活の見直しを図る。</p>	<p>【学校保健委員会】</p> <p>・全校児童が健康課題に取り組むために、自己の生活をチェックし、養護教諭の点検をもとに振り返っている。学校保健目標を立て、振り返ることを全校で共通化している。</p> <p>【特別活動・総合的な学習の時間】</p> <p>・学年の発達段階に応じた食教育の充実が図れるよう特別活動8学校行事等において計画的に指導していけるようにする。また、栄養教諭と連携して喫食率を上げていくことや、栽培活動を行い育てる活動をしていくことで、食に対する意識を高める。</p>

### 4 体力向上1校1実践運動

<p>【名 称】 体カアップタイム</p> <p>【ねらい】 ・限られた運動時間と場所で、効果的に運動の機会を確保し、運動の楽しさを味わうとともに、多様な種目に取り組む機会を確保する。</p> <p>・できるようになる喜びを味わい、進んで運動に親しむ態度を養う。</p> <p>【内 容】 ・月に1回、休み時間を全校が運動場へ出る日を設定し、持久走や長縄、短縄・遊具を行う。(1学年のみ体育館で実施する。)</p> <p>・体育委員会児童の企画で長縄集会を2回行う。</p> <p>【指 標】 ①体カアップタイムの取組をもとに、運動習慣の実態を把握する。</p> <p>②体力の向上を図る。</p> <p>③普段の休み時間にはできない運動を行うことで、運動の楽しさを多くの児童が味わえるようにする。</p> <p>④長縄集会においては、クラスごとや全校で目標回数を設定し、集会で達成することを目指す。</p>
--



<p>【名 称】 体カアップタイム</p> <p>【ねらい】 ・コロナ禍では全校児童が運動場に集まることができないので、ペア学年で短縄運動を中心に体力向上を目指していく。また、密にならないような多様な運動を取り入れ、楽しみながら運動に取り組む。</p> <p>・できるようになる喜びを味わい、進んで運動に親しむ態度を養う。</p> <p>【内 容】 ・月に1回、休み時間に体育委員会児童の企画で短縄運動や多様な運動に取り組めるようにする。</p> <p>・3日間で開催をし、ペア学年で必ず参加するようにする。</p> <p>【指 標】 ①体カアップタイムの取組をもとに、運動習慣の実態を把握する。</p> <p>②体力の向上を図る。</p> <p>③できなかった技ができるようになることで、運動の楽しさを多くの児童が味わえるようにする。</p> <p>④短縄カードを活用し、技ができるようになることを目指す。</p>
--